

(仮称)新潟駅・万代地区周辺将来ビジョンの策定に寄せて

國學院大學 教授 西村 幸夫 先生からのコメント

流作場や旧新潟駅前の弁天公園など、様々な蓄積の中に今のこの地区があるので、多様な蓄積をうまく今後違う形で活かしていくべきだ。

通りごとに色々なものがあって特性がある。例えば、道路の屈曲や軸線が違うことにもそれぞれに意味がある。都市の形が変わっていったことも含めて、それぞれの通りで色々なお店や賑わいがどのように形成されてきたのかについて、一度歴史を振り返ることで、それこそが各地区のアイデンティティやルーツになる。

古町と時代は違うが、近代化の中、同じくらいの規模の地域で様々なことが起きているので、匹敵するくらいの物語を描けると思う。

ミクロに現場のことも見ながら地区に落とししていくようなことができると、空間的な実感を持ちながら地区の物語やコンセプトを議論できていくのではないかな。